

秋の武庫川ウォーク ～河川敷コスモス見学～

阪急武庫之荘駅から武庫川へむけてウオーク、河川敷の美しいコスモス畑で約 550 万本のコスモスを見学。終了後には希望者で懇親会を行います。秋の一日をのんびり過ごしませんか。

と き：11月10日(土)

集 合：14：20 阪急武庫之荘駅北口

参加費：無料 ※小雨決行

予定コース

阪急武庫之荘駅～徒歩(約1時間)～武庫川河川敷コスモス園

～徒歩(約1時間)～阪急武庫之荘駅にて解散

約7キロ、所要120分ほど

※終了後、希望者で懇親会を行います

参加お申し込み

FAX 返信：078-393-1802

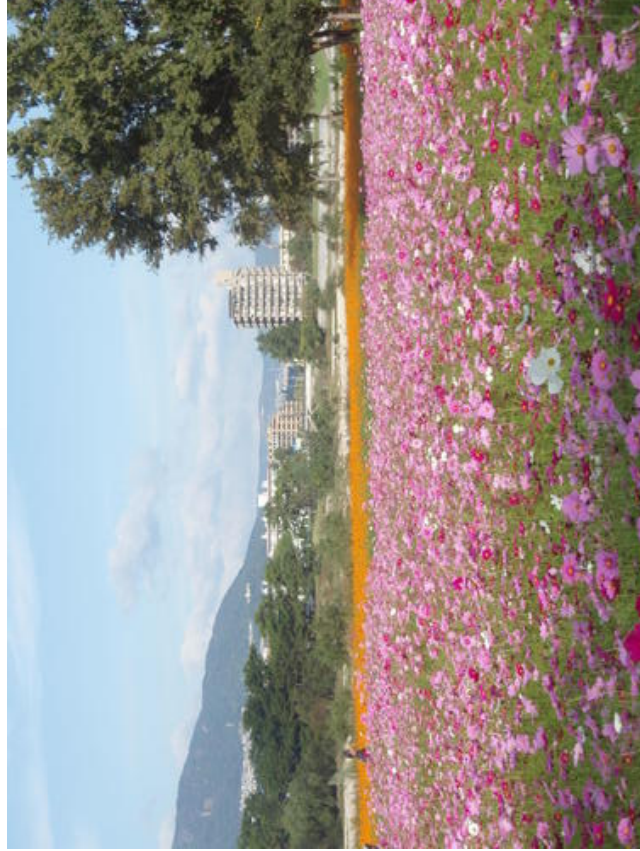
秋の武庫川ウォークに()人参加します

医療機関名()

代表者ご氏名()

TEL ()

FAX ()



↑昨年11月のコスモス園の様子(尼崎市ホームページより)。約13,000㎡の敷地に約550万本のコスモスが咲き誇る。

ご家族、職員、患者の方の参加も大歓迎です!!
(ご家族、職員、患者の方のみの参加も可能です)

お問い合わせは、事務局 長澤・有本・荒川・石本まで TEL:078-393-1803

兵庫県保険医協会 尼崎支部ニュース

337 号

2012 年 10 月 25 日付

〒660-0055 尼崎市稲葉元町2-11-10 八木クリニック内
兵庫県保険医協会尼崎支部 TEL06-6417-6600 FAX06-6417-6011

県塚の会総会・記念学習会

「地域医療を守るため、行政に思いをぶつけよう」



講演する綿谷副支部長

尼崎支部が参加する「県立塚口病院の充実と尼崎市及び阪神地域の医療を考える会(通称県塚の会)」は10月6日、ハーティホールにて第5回総会と学習会を開催し市民ら36人が参加した。学習会では綿谷茂樹副支部長、ヘルパーの寺岡京子氏、県会議員の宮田静則氏がそれぞれ報告した。

綿谷副支部長は「開業医から見た県立塚口病院跡地について」と「尼崎市医師会からの提案」の2点の報告を行った。まず、尼崎市の医療の現状として、救急搬送先が見つからないケースが15.6%と全国平均の

5倍となっていることや、県立塚口病院と県立尼崎病院の統合後の新病院ではベッド数が900床から730床に減るといった問題を取り上げた。塚口病院付近で開業する医師として、在宅療養中の患者が肺炎を起こした場合などに、入院治療ができる病院の必要性を訴えた。

現在の診療報酬の水準、土地代・建設費用などを考えると塚口病院跡地への民間病院の誘致は難しく、県だけではなく市の役割も重要であるとしたうえで、市民ひとりひとりの医療に対する思いを行政にぶつけようと呼びかけた。

寺岡氏は介護の現場から、厳しい老老介護の実態などを紹介し、地域での医療・福祉・介護の連携が重要だと訴えた。

宮田氏は尼崎市の「跡地には医療機関や福祉施設の誘致に努める」という答弁に責任を持つよう今後も働きかけようと呼びかけた。

なお総会では「県立塚口病院跡地に医療機関誘致を求める要望書」署名への取り組みが提案され、2万筆集める目標が採択された。



総会では活発な議論が展開された

社保協総会

「当事者が声を上げやすい運動を作ろう」



講演する宇都宮弁護士

尼崎社会保険推進協議会（会長・畠中正昭支部幹事）は、10月13日に定期総会を開催した。記念講演では「多重債務の根底にある貧困と生活保護問題」と題して、日本弁護士連合会前会長・反貧困ネットワーク代表の宇都宮健児弁護士が講演し、市民ら108人が参加した。

宇都宮弁護士は、多重債務者を救済するために取り組んだ立法運動について紹介。改正貸金業法の施行によって、グレーゾーン金利の撤廃と年収の3分の1を超える貸付けを禁止した総量規制

が導入されるなど、サラ金を縛る「法の力」を力説した。ただ、多重債務者の多くは、低所得、病気、失業などの生活苦を抱えており、「サラ金を規制しても多重債務者の生活を根本的には解決できず、背後にある貧困問題にもっと真剣に取り組まなければならないと思った」として、「反貧困ネットワーク」の結成に関わった経過を報告した。また、生活保護バッシングについても触れ、「日本の脆弱な社会保障制度のもとでは生活保護受給者が増加するのは当然の流れ」としたうえで、孤立死が頻発する無縁社会と呼ばれる現代においては、「貧困を社会的、政治的に解決する必要がある、当事者が声を上げやすい状況をつくる運動や支援が必要」と訴えた。

総会議事では、市民生活を支援し社会保障制度の改善を目指すことなどを柱とした次年度活動方針が提案・了承され、会長には畠中正昭先生（支部幹事）が再任された。

アスベスト被害からいのちと健康を守る尼崎の会総会のご案内

原告と弁護団は、8月7日の神戸地方裁判所の判決が、クボタの加害責任を一部認めたものの、クボタのアスベスト飛散範囲を極端に絞り込んだこと、国の責任を不問としたこと等を不服として、大阪高等裁判所に控訴手続きを取りました。控訴審に向けて、公正な判決を求める署名運動に取り組みますので引き続きご協力をお願いします。

アスベスト被害からいのちと健康を守る尼崎の会 第8回総会

日時 12月15日(土)午後2時～4時

会場 尼崎労働福祉会館中ホール

☆判決内容と控訴理由の学習を中心に行います

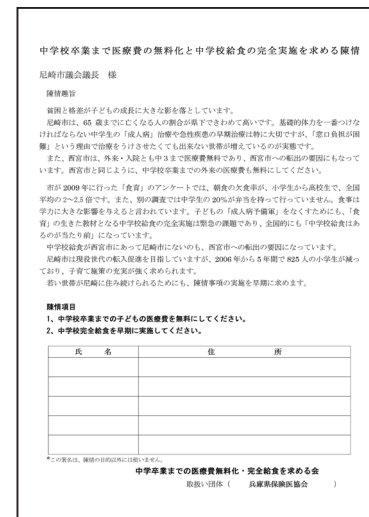
アスベストの会会長 船越正信先生へのインタビュー
が兵庫保険医新聞に近日掲載されます。

ぜひご覧ください。



聞き手：綿谷茂樹副支部長 船越正信先生

中学校卒業までの医療費の無料化と中学校給食の完全実施を求める陳情署名
引き続きご協力をお願いします



※署名用紙の追加をご希望の場合は、協会事務局までご連絡ください。:

支部が幹事団体として加盟する尼崎民主市政の会が発足させた「中学校卒業までの医療費無料化・完全給食を求める会」では、現在「中学校卒業まで医療費の無料化と中学校給食の完全実施を求める陳情」署名運動に取り組んでいます。会員の先生方には署名用紙を先日お送りいたしました。これまで多くの先生方からご協力をいただきました。ありがとうございました。同会では12月市議会への署名提出にむけて、全体で10万筆を集めるために奮闘しております。引き続きご協力いただきますよう何卒よろしくお願いいたします。

第 465 回幹事会だより

9月28日(金)於 阪急園田「王府楼」 参加:5人

- 尼崎支部の会員数と組織率
9/27 現在 医科 379 人、歯科 135 人
- 医療をめぐる情勢と運動対策
こども病院移転問題、領土問題、自民党総裁選などについて意見交換した。
- 当面の支部活動
11 月 10 日（土）文化企画「秋の武庫川ウォーク」を開催予定。（4 面参照）
- 次回の幹事会
10 月 26 日（金）20 時から J R 立花「アッパ」で開催。
お問い合わせは TEL 078-393-1805 長澤まで

健康情報テレホンサービス 通話料無料 (0120) 979-451

＜11月のテーマ＞ (3日,23日,12月1-2日は金土日のテーマを放送)

- | | |
|-----|----------------|
| 月曜日 | 冬に流行る乳幼児の嘔吐下痢症 |
| 火曜日 | 歯科インプラントについて |
| 水曜日 | タバコのない健康な社会へ |
| 木曜日 | 外反母趾と靴 |
| 金土日 | 大人のアトピー性皮膚炎 |

※テレホンサービスは、協会ホームページでもご覧いただけます。既放送分も掲載しています。
<http://www.hhk.jp/>